

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

国保「旧ただし書き方式」への変更で

中野区が住民説明会開催へ

国保料算定方式の変更で4月から値上げとなつた保険料の徴収は6月から。高すぎる保険料と国保の広域化に反対する運動はいよいよ本番です。

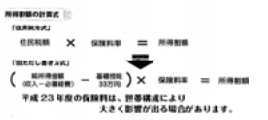
中野区は算定方式変更について4月に被保険者へ通知、5月に説明会を5回開きます。中野社保協は被保険者の多くが高齢者であり、説明会は身近な会場でより多く開くよう要望しています。説明会当

国民健康保険料の説明会を行います

国民健康保険料は、加入者1人ごとにかかる均等割額と、加入者の所得に応じてかかる所得割額との合計額です。

今年も、所得割額の計算方法が変更になります。

所得割額の計算方法を「旧ただし書き方式」から「新方式」に変更します。



国民健康保険料の算定

項目	金額	備考
均等割額	5月1日(日) 1,480円	
所得割額	5月1日(日) 1,480円	
国民健康保険料	5月1日(日) 2,960円	
国民健康保険料	5月1日(日) 2,960円	
国民健康保険料	5月1日(日) 2,960円	

平成23年度の国民健康保険料は、所得割額により大きく変更が予想されています。

中野区が作成したチラシ

東日本大震災の被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。東京社保協では、救済募金に取り組み、中央社保協を通じて被災地に届けます。

3自治体で窓口負担軽減

今年4月から、千代田区、日の出町で18歳までの子どもの医療費の助成がスタートしました。どちらの自治体も15歳までの医療費助成制度を独自の施策として拡充したものです。また、檜原村では「高齢者医療費の助成制度」がスタートし、75歳以上の方の窓口負担の2分の1を村が助成します。

窓口での支払いが不安で具合が悪くても病院に行くのをためらい手遅れになるという事例が年々増える中、社保協でも窓口負担の軽減を要求してきました。

今回の3自治体の制度発足は、窓口負担軽減に向けて貴重な制度です。この経験を各自治体で広げていきましょう。

震災被害、労働・医療などなんでも相談会開催を

「震災の影響でと、派遣先から雇い止めと言われた」「20日間自宅待機と言われた」、休業手当はでないのか」など



4月16日 中野区立病院・診療所有志の無料・街頭なんでも相談会

東京地評労働相談センターには、連日、東日本大震災や計画停電などに係わる労働相談が多数寄せられています。

相談対応のため、東京地評では、震災問題に係わる労働相談員緊急学習会を4

月12日に開催したところですが、今後、地域や職場での相談員学習を強めながら、街頭での労働・生活相談活動を展開します。ぜひ、地域社保協のみなさんには、ご協力と共同した取り組みをお願いいたします。当面、5月21日には、赤羽駅東口駅前広場で14時から「震災に負けるな！労働・生活・行政何でも相談会」を行います。(東京地評・菊池)

国保の現状から住民本位の国保運営まで

好評! 国民健康保険の改善を
ハンドブック2011(1部50円)

国保ハンドブックが好評です。6月議会に向けた草の根の運動に向けて、少数の学習会から使える学習ハンドブックです。

社会保障としての国保制度の在り方から国保の現状、国の改悪の狙い、地域での闘いのポイントが読みやすい一冊にまとめてあります。地域社保協、各団体での活用をお願いします。



国民健康保険の改善を
私達の国保料、窓口負担へ



闘いはセーフティネットである生活保護制度を守り、つ

2007年2月に提訴した東京生存権裁判は、今最高裁第3小法廷で審理されています。裁判としては正念場です。なんと利しなればと焦っています。生活保護の老齢加算が廃止され、当時受給していた高齢者は10万円前後の生活扶助費の2割を削られ、結局は食費を切り詰め、交際費を削って社会的義理を捨てざるをえませんでした。憲法25条が国民に保障している「健康で文化的な生活とは何か」を正面から争っています。生存権裁判の

大震災と生存権を結んだ運動を 最高裁での勝利に向けて

低生活費を削減させない闘いです。

医療、年金、見舞金などいろいろの制度があると、言っても結局、日本には全生活をカバーするセーフティネットは生活保護しかありません。

3月11日から重大な事態になり、被害が拡大している東日本大震災も、原発も、被災されて途方にくれている方々は結局（短時日にしろ）生活保護の活用が必要になってきます。利用しやすい制度の運用が求められ、内

5・28シンポジウム

大災害からの復興と人間らしく生きる権利の保障を

一生存権裁判勝利をめざして一

- 日時 2011年5月28日 14:10~16:30
- 場所 板橋区立文化会館
- 内容 シンポジウム
 - ★布川日佐史氏 (静岡大学教授)
 - ★松崎 喜良氏 (神戸女子大学准教授)
 - ★黒岩 哲彦氏 (東京生存権裁判弁護団)
- 司会
 - ★荏上 隆氏 (東京生存権裁判弁護団)

主催・生存権裁判を支援する全国連絡会

容も十分でなければなりません。削減したり、引き下げるのは論外のはずです。大震災と生活保護と生存権と結びつけた大運動が必要です。

生活保護制度の充実が緊急課題です。生存権裁判勝利のために以下の取り組みにご協力ください。

- ① 最高裁宛署名は8月までに15万筆の目標に対して、到達3万251筆です。早急に署名を集めてください。
- ② 裁判勝利のための募金にご協力ください。
- ③ 5月16日(月) 最高裁要請第5次行動に参加してください。(11時最高裁)

いのちとくらしを守る都政の実現へ引き続き奮闘しましょう

2011年4月 東京社会保険推進協議会
会長 竹崎 三立

2011年東京都知事選挙でのご奮闘お疲れ様でした。

東京社保協は、「チェンジ石原都政」をかかげ、「いのちを守る福祉・防災都市東京」の実現をめざし、革新都政をつくる会から立候補した小池あきら候補を推薦しその当選へ向けて奮闘しました。

小池あきら候補と「革新都政をつくる会」は、石原都政12年間の福祉切り捨て都政の実態を明らかにし、これに代わる都民のいのちとくらしを守る新しい福祉都市東京への展望と政策を示して選挙戦をたたかいました。テレビ討論も一回だけに限られる中で、小池あきら候補は、論戦をリードし62万3913票(10・35%)という貴重な得票を得ました。

今回の都知事選挙は、3月11日に起きた東日本大震災と福島第一原発事故が深刻化する中で、3期12年の石原都政のあり方が鋭く問われた選挙でした。

東京社保協は、3月17日に「都知事選挙延期要請」を都知事・選挙管理委員会・各会派へ要請したのをはじめ、選挙中も大震災の支援と原発事故による都民の不安を解決するための要請を繰り返し、東京都と都知事候補、各会派へ行ってきました。

結果は、石原都知事の四選になりましたが、引き続きいのちとくらしを守る福祉・防災都市東京へ、地域からいっそう要求運動を広げ「チェンジ石原都政」のたたかいをすすめましょう。

医療支援、被災者救援 引き続き重要



小名浜港にて(工藤さん撮影)

小名浜生協病院へのボランティアに参加

東京民医連 工藤貴美子

4月11日 10時半にいわき市小名浜生協病院に到着。全日本民医連の方々とおリエンテーションを受け、さっそくクリニックに配置され採血、注射などを主に行うことになりました。夕方5時過ぎに震度6弱の余震が発生。ハンドルをしっかりと捕まえていないと体が揺すぶられる感じ。病院周辺は停電となり断水。翌12日午後2時過ぎ。いきなり地面から突き上げるように震度6弱の余震が発生。

岩手・宮城の仲間へ 支援物資

14日夜、本部から岩手・宮城の組合へ向けてトラックに支援物資を満載して出発。運転の藤原・唐沢両書記は、途中のサーピスエリアで寒さに震えながら仮眠、翌朝早くに盛岡に到着しました。荷降ろしをした後に、仙台の宮城県連訪問と沿岸部・若林地区の被災地視察をし、深夜に帰京しました。届けた物は、岩手は、

大工道具も届ける

東京 丸のこ、インパクトドライバ、釘打ち器、鋸、差金、糖、うどん、缶詰、日本酒、ほか、薬・歯磨きセット、タバコ。宮城は、ブルーシート、土嚢袋、釘袋などです。別に宅配便で作業服も送っています。(東京土建東日本大震災対策ニュースより)

東京社保協は、東日本大震災の救援募金を受け付けています。募金の送付先は次のとおりです。

【振込み先】
中央労働金庫
池袋支店
(普)1807182

大きな2回の余震の影響により、病院の給水が再度ストップし自衛隊の給水車が何回もやってきていました。14日、夜勤明けの看護師さんが車で被災場所の小名浜港を案内してくれました。転覆した小船、津波で倒壊した家々。マリンパークは、地震による液化化や停電で展示されていた魚介類に被害。小名浜港の先は小さな集落が海岸沿いに多数あります。中でも豊間という地域は200世帯程の小さな地区。そのうち半数以上が津波で全壊。通院していた患者さんは目の前で孫が流され、来院の際に「俺がやられればよかったよ」と泣いて話していたそうです。

断水になった家、電気もきていない家、糖尿病の患者さんは脱水の方が多く、不眠、食欲不振、不安などで特に高齢の患者さんが相当ダメージを受けています。クリニックの職員自身も被災者ですが、患者さんの話をよく聞き、共感しています。明るく「生きていかなくてはね」と患者さんを励ましていました。福島第一原発の事故が被害甚大なため、いわき市の津波被害は殆どメディアに乗らないようです。今後は医療支援と地域の方々への支援の両方が一層重要となつていきます。

2011介護フォーラム

介護保険制度「改正」と「地域主権改革」

問題提起・コーディネーター 安達智則氏 (東京自治問題研究所・都留文科大講師)

5月28日 土

時間 13:00～16:00
※前半に「介護をよくする東京の会」総会を行います

会場 ラパスホール(東京労働会館7階)

資料代500円

生活援助が介護保険から外れる?
「市場化」は介護に何をもちたらす?
今後、介護制度はどうなるの?

主催・介護をよくする東京の会

ご参加お待ちしております

記録映画 無言館

「生命の証」をきざみこんで戦地に発った若者たち
平和へのメッセージ 「無言館」それは愛の美術館

長野県上田市、周りを山々に囲まれた田園地帯の岡上に、ひっそりと佇む小さな美術館「無言館」。
静まりかえった「無言館」の扉を押すと、そこには志を半ばで戦場に散った画学生たちの声なきこえてきます。
一枚の画布、一冊のスケッチ帖に「生命の証」をきざみこんで戦地に発った若者たち。
『無言館』館主窪島誠一郎さんは、その画学生たちの遺した作品、遺品を全国各地をたずね、収集しました。



5月14日初日舞台あいさつあり

新宿武蔵野館

5月14日～6月10日

- ①10:30 ②12:30 ③14:30
- ④16:30 ⑤18:30

問い合わせは、共同映画
電話03-5466-2311

いのちの山河～日本の青空Ⅱ～

善改善 運動の原点



高齢者医療
無料化、乳
児死亡ゼロ
を実現した
旧沢内村！

2011年5月27日(金)
①10:30 ②14:00
③18:30

大田区アプリコ大ホール

大田上映実行委
員会(城南福祉
医療協会内)
TEL03-3762-8421
前売券1200円
(当日1500円)
制作協力券は利
用できません



住まいの安心相談は



- ★火災警報器取り付け
- ★家具転倒防止金具
- ★リフォーム
- ★住まいの何でも相談

東京土建へ

建築士・大工・工務
店を中心に専門技
術者がそろっています



東京土建一般労働組合
☎0120-187-514

東京土建 | 検索

当面の日程

- 国会行動 12:15集合 衆院第2議員会館前
- 5月18日(水) 6月1日(水) 15日(水)
- ※5月18日、6月15日は1時半国会要請
- 第6回常任幹事会
- 5月26日(木) 13:30～ 東京労働会館5階
- 第38回東京社保学校
- 7月2日(土) 10:00～ けんせつプラザ東京
- 講師・二宮厚美神戸大学教授
- ※詳細は決まり次第お知らせします

シンポ
ジウム

被災地から来た子どもとともに

学校を安全と安心の根拠地に

新年度がスタートし、東京の小中学校に、被災地から788人の子どもたちが転入してきました(4月12日現在)。また、余震や原発事故に不安を募らせている東京の子どもたちにとっても、学校が安全と安心の根拠地にならなければなりません。学校や地域、子どもたちの心のケアなど考え合ひましょう。

5月26日(木) 18:30～21:00

カデュカス東京

7階会議室 四ツ谷・市ヶ谷駅7分
麹町駅2分



被災した石巻の高校

主催・東京都教職員組合・東京都障害児学校教職員組合・子どもを貧困と格差から守る連絡会議